

●●● “地球” を大切にする ●●●

「不在再配達」の削減に向けた取り組み

受け取り方法の多様化による、環境負荷の低減

受け取りやすくなると、地球にもやさしくなれる

運送のキャパオーバーが社会問題化

近年、大手ECモールの台頭などによる通販商品の荷扱い量の増加や、ドライバーの高齢化、人手不足に起因する運送のキャパシティオーバーが社会問題化しています。通信販売を生業とする当社においても、事業を継続するうえでこれは重要な解決課題であり、お客様の受け取りやすさにも繋がる、輸送効率の改善に向けた対策に取り組んでいます。



通販は便利。でも荷物の受け取りが悩みのタネ

その中の一つのテーマが「不在再配達」の削減。特にお仕事などで日中、自宅を不在にされている方にとって、荷物の受け取りは悩みのタネ。「配達の方に申し訳ないなあ」と思いつつ、再配達の手続きをするのも面倒です。当社においては、受注時にお届け時間帯の指定（無料、一部対象外商品あり）を承る事で、可能な限りお客様のご要望にお応えしておりますが、それでも十分ではありませんでした。ディノスにおいては、受け取り時間の制約を受けないコンビニエンスストア店頭受け取りサービスを導入することで、出勤前や帰宅後の遅い時間でも商品をお受け取りいただく事を可能としています。また、この他にも運送会社の営業所での受け取り（共に対象外商品あり）も可能です。



在宅不要のポストイン配送

セシールにおいては早くから、小型・少量の商品の発送時に判取り不要なポストイン配送を導入していましたが、これを更に増やすべく取り組みました。まず、梱包資材のサイズの見直し。こちらはポストインに許された最大のサイズになるようミリ単位での変更を行い、収納容量を増やしました。ただ、本当に難しいのはここからで、いくらポストイン対応の梱包資材を準備しても、肝心の商品が収納できなければ意味がありません。そこで、折りたたんでも品質に影響の少ない一部の衣類などについて、取引先の協力のもと、梱包資材の寸法（タテ・ヨコ・高さ）を意識した商品のたたみつけ（＝パッケージング）への変更を進めています。これにより、ポストインでの発送が可能となる商品が増えたのはもちろんのこと、詰め合わせる商品の組み合わせなどにもよりますが、ダンボールでの配送においても、ひと番手小さいサイズでの発送が可能となる、梱包のダウンサイジングも進んでいます。

この様に、受け取り方法の多様化は、お客様の利便性が向上するだけでなく、輸送効率の改善や省資源化など、環境負荷の低減にも繋がっています。

